

## 令和5（2023）年度大学院修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る 特に優れた業績による第一種奨学金返還免除内定候補者の募集について

日本学生支援機構（以下「機構」）から、令和5（2023）年度大学院修士課程及び専門職学位課程に進学予定かつ、入学後「第一種奨学金」奨学生として採用されることを前提に、返還免除内定候補者の推薦依頼がありました。希望者は下記を確認し、申請してください。

### 1. 制度概要

特に優れた業績による奨学金返還免除制度とは、大学院（修士課程・専門職学位課程・博士課程）において、第一種奨学金の貸与を受けた学生で貸与期間中に特に優れた業績を挙げたと認められる場合には、貸与期間終了時においてその奨学金の全部又は一部（半額）の返還が免除される制度です。

このうち、今回の募集は修士課程又は専門職学位課程進学時に、第一種奨学金貸与終了時に決定する業績優秀者の返還免除内定制度を対象とします。

この内定制度により、次代の科学技術イノベーションや地域を担う優秀な低所得世帯の学部生等に対して、修士課程等への修学に係る経済的不安を早期に解消し、進学へのインセンティブを高めることを目的としています。

※日本学生支援機構奨学金の返還免除制度の Web サイトも確認してください。

URL <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/>

### 2. 対象者

2023（令和5）年度に慶應義塾大学大学院修士課程又は専門職学位課程に進学後、第一種奨学金の貸与を受ける予定で、以下のいずれにも該当する者。留学生は本制度の対象外です（外国籍の学生の場合は、在留資格が「法定特別永住者」、「永住者」、「定住者」等のみが対象）。

- (1) 大学学部等において修学支援新制度を利用していること（※1）、又は修学支援新制度は利用していないが、住民税非課税世帯であること（※2）が各大学院で確認できること。
- (2) 特定分野（「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（※3）（情報・AI、量子、マテリアル等）」又は「大学の強みや地域の強み等を生かした分野」）への進学を希望していること。
- (3) 将来、上記（2）に記載の特定分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を備えて活動することができると認められる者。

※1 修学支援新制度利用者であっても、本内定制度申請時点で家計基準に基づく支援区分の見直しに

より奨学生の身分が「停止中」の者については、「本内定制度の対象者」には該当しません。一方、奨学生の身分が「停止中」の状態であっても、当該停止の理由が家計基準に基づく支援区分の見直しによるものでない場合は、「本内定制度の対象者」に該当します。

※2 当該学生本人及び生計維持者（父母がいる場合は原則として父母（2名））の所得証明書等（本内定制度申請時に取得可能な最新の年度のもの）により全員の住民税所得割額が非課税であることを本学が確認できること。

※3 どちらの特定分野に当てはまるかは、大学で総合的に判断します。

### 3. 採用予定人数

令和5（2023）年度

修士課程 12名

専門職学位課程 3名

※上記人数は、当該課程における採用予定人数となります（修士課程の採用予定人数は、全研究科での合計人数となります）。

※本学から日本学生支援機構に内定候補者として推薦された場合でも、必ずしも内定候補者として採用されるとは限りません。

### 4. 内定候補申請から返還免除申請までの流れ

#### 1) 事前登録

申請を希望する方は、下記フォームより2023年1月25日（水）までに必ず事前登録をしてください

- ・事前登録前に、必ず本制度の申請対象者の要件を満たしていることを確認してください。
- ・事前登録完了後、2023年1月6日以降順次、登録したメールアドレスにスカラネット（日本学生支援機構サイト）入力時に必要な慶應義塾大学の識別番号とパスワードをお知らせします。
- ・大学から連絡する場合、メールを「@adst.keio.jp」、「@keio.jp」、「@info.keio.ac.jp」のドメインからお送りしますので、必ず受信できるようにしておいてください。

【事前登録フォーム】

URL：<https://forms.gle/tkzMvBJTeadUV8Um7>



#### 2) 申請書類の作成

##### 2-1) スカラネットより入力をしてください

- ・事前登録後、本学から大学識別番号とパスワードが届きましたら、スカラネットより登録をしてください。なお、登録する際は「6. 申請関係書類」より「スカラネット入力下書き用紙」をダウンロードし、入力内容を記載しておいてください。

- ・ 2-2で案内している他の書類を提出するまでに、必ずスカラネットから必要事項を入力してください。

スカラネット（「◆返還免除内定制度の申込」より入力）

URL：<https://www.sas.jasso.go.jp/scholarnet/>

### 2-2)「6. 申請関係書類」より各種用紙をダウンロードしてください

- ・ ダウンロードした書類に、必要事項を記載してください。
- ・ 提出書類の準備をする際は、「申請書兼書類確認票」を確認しながら提出書類に不足がないようにしてください。申請書類は全員提出が必要です。申請書類に不備や誤りがある場合、選考から外れることがあります。

### 3) 申請書類の提出

- ・ 進学予定の研究科設置キャンパスの奨学金担当（「7. 申請先」を参照）に提出してください。提出方法は、窓口もしくは郵送となります。
- ・ 書類提出にあたり、窓口受付時間や郵送の場合は提出期限必着である点に注意してください。

### 4) 大学院在学採用（第一種奨学金）の申請について

- ・ 返還免除内定候補の申請者のうち、2023年4月入学者は、必ず2023年4月上旬頃に募集予定の大学院在学採用（第一種奨学金）の申請を行ってください。
- ※2023年9月入学予定者で、返還免除内定候補の決定通知を受け取った方は、必ず2023年10月上旬頃に募集予定の大学院在学採用（第一種奨学金）の申請を行ってください。

### 5) 結果通知

- ・ 7月頃に本学から決定通知または不採用通知を行う予定です。

### 6) 内定者について

内定者は採用後、以下の点に注意してください。

#### <中間評価>

- ・ 2年生以上への進級時に内定者として相応しい成績を修めているか審査されます。その結果、内定が取り消される場合があります。

#### <特に優れた業績による返還免除申請>

- ・ 内定者として決定された場合も、貸与終了時に「特に優れた業績による返還免除」の申請が必要です。
- ・ 「特に優れた業績による返還免除」の申請は、第一種奨学金の貸与終了月が属する年度に行う必要があります。大学院の修了年度と一致しない場合があり、機会を逸すると申請できませんので注意してください。申請方法等については例年12月下旬にご案内します。

## 5. 申請受付期限

事前登録締切：2023年1月25日（水）

書類提出締切：2023年1月31日（火）※郵送の場合は必着

※スカラネット（日本学生支援機構サイト）からの入力および、必要書類提出の両方が申請期限内に行われていない場合は、理由の如何に関わらず、本件にかかる申請は無効となります。

## 6. 申請関係書類

申請書類は下記 Web サイトよりダウンロードしてください。

URL：<https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/mmenjo.html>

<掲載書類一覧>

- ・募集要項（本紙）
- ・申請書兼書類確認票
- ・研究計画書（様式1）
- ・スカラネット入力下書き用紙

## 7. 申請先

申請書類の提出先（窓口・郵送とも）は、下記に記載の大学院研究科設置キャンパスの奨学金担当窓口となります。郵送の場合は、レターバックライト、レターバックプラス、簡易書留、特定記録等、記録の残る方法で送付してください。封筒の表に「修士課程返還免除内定候補申請書類 在中」と朱書きしてください。

・文学研究科、経済学研究科、法学研究科、社会学研究科、商学研究科、法務研究科
108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学学生部福利厚生支援担当（三田キャンパス南校舎地下1階） <窓口受付時間> 8:45～16:45（平日のみ ※2023年1月10日は閉室）
・医学研究科
160-8582 東京都新宿区信濃町 35 慶應義塾大学信濃町学生課学生生活担当（信濃町キャンパス孝養舎1階） <窓口受付時間> 8:45～16:45（平日のみ ※2023年1月10日は閉室）
・理工学研究科
223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉 3-14-1 慶應義塾大学理工学部学生課学生生活担当（矢上キャンパス 25 棟 1 階） <窓口受付時間> 9:30～11:30、13:30～16:30（平日のみ ※2023年1月10日は閉室）
・経営管理研究科
223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学日吉学生部大学院経営管理研究科奨学金担当（日吉キャンパス協生館2階） <窓口受付時間> 8:45～11:30、12:30～16:45（平日のみ ※2023年1月10日は閉室）

<p>・政策・メディア研究科</p>
<p>252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322  慶應義塾大学湘南藤沢事務室奨学金担当（湘南藤沢キャンパス A 館 1 階）  &lt;窓口受付時間&gt; 9:15～16:00（平日のみ ※2023 年 1 月 10 日は閉室）</p>
<p>・メディアデザイン研究科</p>
<p>223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1  慶應義塾大学日吉学生部大学院メディアデザイン研究科奨学金担当  （日吉キャンパス協生館 2 階）  &lt;窓口受付時間&gt; 8:45～11:30、12:30～16:45（平日のみ ※2023 年 1 月 10 日は閉室）</p>
<p>・システムデザイン・マネジメント研究科</p>
<p>223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1  慶應義塾大学日吉学生部大学院システムデザイン・マネジメント研究科奨学金担当  （日吉キャンパス協生館 2 階）  &lt;窓口受付時間&gt; 8:45～11:30、12:30～16:45（平日のみ ※2023 年 1 月 10 日は閉室）</p>
<p>・健康マネジメント研究科</p>
<p>252-0883 神奈川県藤沢市遠藤 4411  慶應義塾大学看護医療学部事務室奨学金担当  （湘南藤沢キャンパス看護医療学部事務室 1 階）  &lt;窓口受付時間&gt; 9:30～11:30、12:30～16:00（平日のみ ※2023 年 1 月 10 日は閉室）</p>
<p>・薬学研究科</p>
<p>105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30  慶應義塾大学芝共立キャンパス学生課奨学金担当（芝共立キャンパス 1 号館 1 階）  &lt;窓口受付時間&gt; 8:45～11:20、12:20～16:45（平日のみ ※2023 年 1 月 10 日は閉室）</p>

## 8. 注意事項

- (1) 内定候補を申請できるのは、1 校のみです。内定候補となった大学院以外に進学した場合は、その資格を失います。  
※慶應義塾大学大学院以外への進学を予定されている方は、進学予定先の奨学金担当に速やかに問い合わせてください。申請スケジュールや手続等は各大学院によって異なります。
- (2) 正式な内定者となるには、本学大学院入学後の 2023 年 4 月（秋入学者は 2023 年 10 月）に日本学生支援機構奨学金第一種奨学金に申請し、採用される必要があります。
- (3) 返還免除内定者も貸与終了年度に必ず「特に優れた業績による返還免除」に申請する必要があります。
- (4) 以下の場合「内定取消」となり、内定者としての資格を失います。
  - ・貸与中の奨学金について「停止」「廃止」の処置を受けた場合
  - ・修業年限内に課程を修了できなくなったとき

※内定取消となった場合でも、奨学金終了年度に従来の「特に優れた業績による返還免除」に申請することは可能です。

【問い合わせ先】

慶應義塾大学学生部福利厚生支援 日本学生支援機構担当

E-mail : [mitashougakukin@info.keio.ac.jp](mailto:mitashougakukin@info.keio.ac.jp)

※2022年12月28日（水）～2023年1月5日（木）は冬季休業期間のため、  
2023年1月6日（金）以降、順次回答いたします。

以上

# 特に優れた業績による奨学金返還免除制度

## 修士課程に内定制度が創設されます

修士課程及び専門職学位課程（以下「修士課程等」）へ  
令和5年度に進学を予定している方から対象

修士課程等へ進学する前年度に進学を予定している大学院を通じて申請できます  
（対象となる大学院へは機構から通知します）

### 制度創設の目的

優秀な低所得世帯の大学学部生等に対して、修士課程等での修学に係る経済的不安を早期に  
解消し、進学へのインセンティブを高めることを目的としています

### 免除者の割合

これまでの第一種奨学金貸与終了者数に対する30%とは別に、新たに5%が内定制度限定の  
推薦枠として、対象となる大学院に配分されます

### 対象要件

以下のいずれも満たす必要があります

- ① 大学学部等において修学支援新制度を利用していること 又は 非課税世帯であること
- ② 科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）又は 大学の強みや地域の強み等を生かした分野への進学を希望していること
- ③ 将来上記②の分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができると認められること

### 選考方法

上記の「対象要件」を満たしていることを大学院において確認したうえで、大学院入試の成績  
やこれに代わる大学学部の成績等をもとに、文部科学省令で定める各業績について十分な成果  
を挙げる見込みがある者として、総合的に評価し選考されます

### 中間評価

内定者となった場合は 年に1回中間評価があり 内定者として相応しい成績を挙げているかどうか  
確認します（学業成績不振などにより、内定を取り消される場合があります）

貸与終了時には 改めて業績免除の申請をする必要があります

第一種奨学金の申込みは 別途手続きが必要です  
内定制度の申請をただけでは 第一種奨学金は受けられません

◆◆◆詳細は 進学予定の大学院にお問い合わせください◆◆◆

## 【参考】大学院 第一種奨学金(無利子奨学金) 特に優れた業績による奨学金返還免除制度の概要

大学院（修士課程・専門職学位課程・博士課程）において 第一種奨学金の貸与を受けた学生で貸与期間中に特に優れた業績を挙げたと認められる場合には 貸与期間終了時において その奨学金の 全部又は一部（半額）の返還が免除される制度です

### 業績の種類

文部科学省令で定める次の専攻分野に関する業績について 各大学院において設定する具体的な評価項目により総合的に評価が行われます

- 一 学位論文その他の研究論文
- 二 大学院設置基準（昭和四十九年文部省令第二十八号）第十六条第一項に定める特定の課題についての研究の成果
- 三 大学院設置基準第十六条の二に定める試験及び審査の結果
- 四 著書、データベースその他の著作物（第一号及び第二号に掲げるものを除く。）
- 五 発明
- 六 授業科目の成績
- 七 研究又は教育に係る補助業務の実績
- 八 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績
- 九 スポーツの競技会における成績
- 十 ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績

### 申請方法

奨学金の貸与が終了した月の属する年度※に大学を通じて申請する必要があります  
大学では推薦者の選考を行い 貸与終了者数に応じた推薦枠の範囲内で 機構に推薦します  
機構では大学から推薦のあった方について 学識経験者により構成する認定委員会において免除者を決定します

※貸与期間中に挙げた業績が対象となります（在学期間中ではありません）

### 免除の実績【令和3年度貸与終了者】

修士課程	貸与終了者数	18,820人	免除者数	5,646人
専門職学位課程	貸与終了者数	937人	免除者数	281人
博士課程	貸与終了者数	2,088人	免除者数	876人

### 博士課程内定制度

博士課程1年次に進学し 第一種奨学生として採用された人を対象に 貸与終了時に申請する特に優れた業績による返還免除の内定者として 決定する制度です

文部科学省関連機関が行う 主な競争的研究事業における 採択状況を勘案し対象となる大学に対し 推薦枠を配分します

### 詳しい情報はこちら

日本学生支援機構ホームページ

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/index.html>

